

# 音が出るでるアルバム ～That's Communication～

Shinjo Technical High School

No.1



## 今までのアルバム

## はじめに・・・

最近、ニュースで「なぜ、今の若者はすぐにキレるのか？」などという問題が、よく取り上げられています。その、一つの例として、子供が親を簡単に殺してしまうという残酷な少年犯罪が多発しています。一体どうしてこんなことが起きてしまうのでしょうか？

私達は、親と子のコミュニケーションがうまく取れてこなかったために、親子の信頼関係が崩れて、子供が親にキレやすくなり、そのようなことが起こったのではないかと考えました。

そこで、人とコミュニケーションを取る一つの方法として、写真やアルバムをどうにか使えないかと、私達ちは考えました。

## ～21世紀のアルバムを作る～

### 写真のイメージ

私達の学校の仲間に、アンケートで写真に対するイメージを聞いてみました。

写真は好きですか？

はい 89% いいえ 11%

写真を家族と一緒に見ますか？

はい 17% いいえ 83%

どんな時に写真を見ますか？

- ・寂しい時 ・悲しい時 ・昔の事を思い出した時
- ・懐かしく思った時 ・物思いにひけつた時

幼い頃の写真を見てどう思いますか？

- ・恥ずかしい ・面白い ・記憶がない ・小さい

写真のいい所はどこですか？

- ・簡単に見れる ・簡単に撮れる ・むらぎを感じさせる
- ・思い出をいつまでも残しておく ・想像できる
- ・成長の過程を見れる ・一瞬を残しておく

- ・薄い
- ・重たい
- ・場所をとるので整理が大変
- ・思い出せない時がある
- ・探したい写真が簡単に見つからない



これらの短所を改善した  
アルバムを作りたい。

- ・一瞬を永遠に残せる。
- ・一枚一枚に思い出がある。
- ・アルバムのページをめくる楽しさがある。

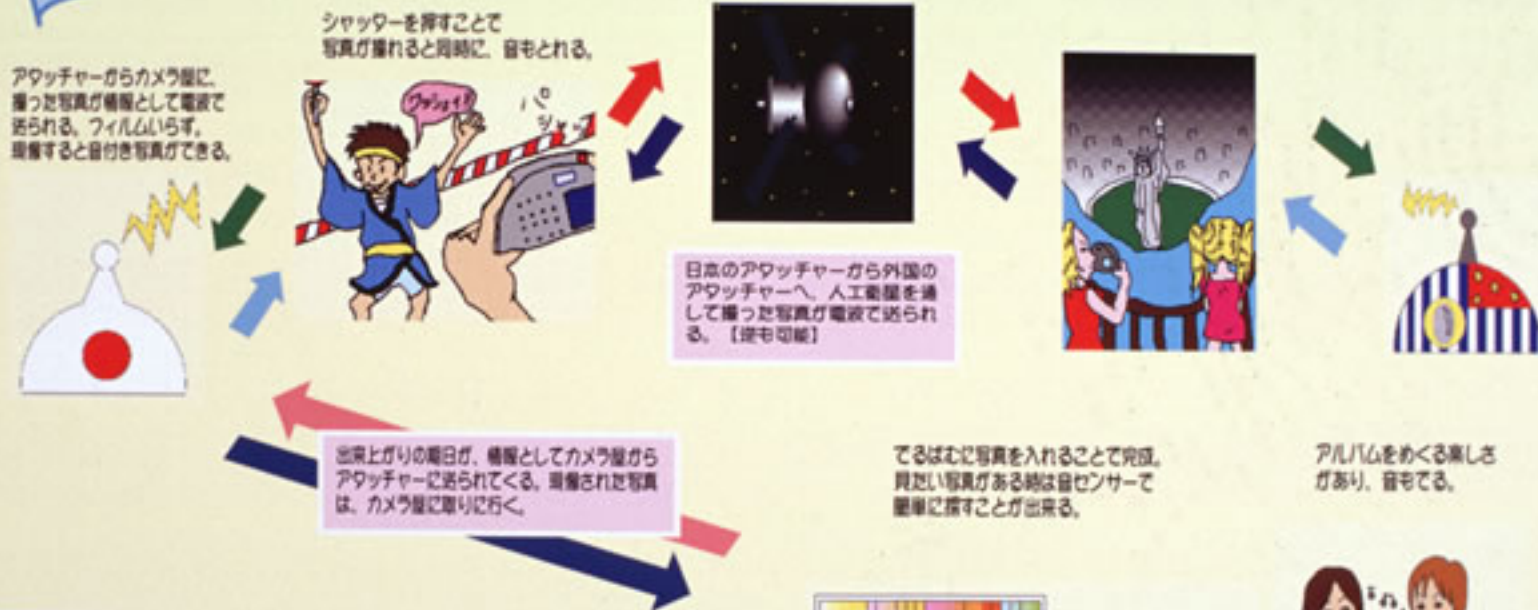


これらの長所を残した  
アルバムを作りたい。

これらを考えて私たちが提案するのは

## 「未来型カメラ」と「音が出るアルバム」

です。



・「アワッチャー」には、撮影する機能と、世界中のカメラ屋との通信・受信をする機能・録音機能が付いています。写真を通して、インターネットとは違う形で発信することが出来ます。

・本来のアルバムの「めくる楽しさ」を残し、近未来的なデザイン・ボイス操作機能・スピーカー機能を付けたのが「てるバム」です。

・「アワッチャー」・「てるバム」の目的は、その時の状況や雰囲気鮮明に思い出せるようにすることです。一瞬を写真という形で、心の中の思い出と一緒に残しておけるものができました。

てるばむに写真を入れることで完成。見たい写真がある時は音センサーで簡単に探すことが出来る。





音が出るてるアルバム  
~That's Communication~

# アタッチャー & てるバムの説明

## アタッチャー



前面



背面

### シャッター

シャッターを押した時にそのまま押し続けるとICにその時の音が録音される。

### アンテナ

撮った写真をカメラ屋に電波として送信する。

### 操作ボタン

送信するときや、消去したりなど、画面上の操作をするときに使う。

### 画面

撮った写真を表示する。

### スピーカー & バッテリー & 音センサー



パノラマなど大きさの違う写真も収納可能。枚数によってページが変わる。

目次の役目としてボイス機能がついている。(ボイス機能とは、しゃべる事で見たい写真を「てるばむ」が探してくれる。)

### スピーカー

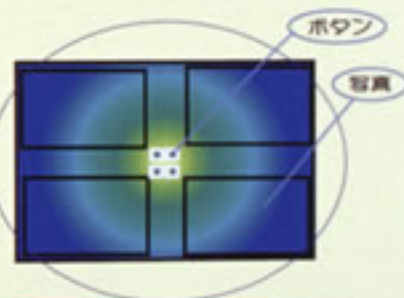
一枚一枚写真の裏には音が保存されている。「てるバム」に入れる事で、センサーがキャッチしてボタンを押せば音がなる。

### 音センサー

写真を探するとき、声で「てるばむ」の両面紙が光って教えてくれる。

### バッテリー

薄い板状の電池。21世紀には今の電池より薄型軽量となっている。



## てるバムが出来るときの流れ

私たち

写真を撮る  
音を捕る

電波で写真屋  
に送信する。

写真屋

・受信する。  
・現像する。

「てるバム」と  
出来上がった写真  
店頭渡し。

音が出るてるアルバム  
~That's Communication~

## 「てるバム」の利用方法

例1. 赤ちゃんの頃を「てるバム」に保存する。  
「てるバム」を見ながら親が子供に話す事で、親子の会話コミュニケーションが増える。そして、親子の絆が深まる。

例2. 離れて暮らしてのおじいちゃん、おばあちゃんに孫の写りが入った「てるバム」をプレゼントする。  
写真をみながら声も聞けるので、孫が近くに居られる喜びがいっそう増す。

例3. クラスの友達や親友が入院した時、「てるバム」にクラスの仲間の写真と一緒に、励ましのメッセージを入れて持って行く。  
そして、学校に行けなくて寂しくなっている友達を、少しでも早く、病気が直るよう元気付けてあげる。

例4. 老人ホームにいる寝たきりの老人に、お祭りの様子を写した「てるバム」を見せる。すると、その場に行かなくてもお祭りの気分を味わう事ができる。ビデオと違って、操作を覚える事がないので、お年寄りには優しい。

例5. 心が甘らぐ写真と懐かしい音楽を「てるバム」にのせて、今の忙しい日本人に見せる。そして、心の中から疲れを癒してあげる。

例6. 世界中に写真を送信できるので、外国の人と仲良くなれるチャンスが増える。そうする事により、いろいろな国の人と友達になれて国境のない世界になっていく。そして、全世界が平和になり、戦争のない社会になっていく。

## まとめ

このように、アルバムから声が出ることにより、その時の記憶が鮮明により確実に思い出され、大切な思い出を忘れてしまうという事がなくなります。そうすれば、アルバムを見る事が今まで以上に楽しくなります。家族や友達と一緒に見ることで会話が増え、人とのコミュニケーションをとる事ができます。すると、人とたくさん会話できるのでストレスやイライラがなくなり、人間性豊かな人になっていけるのではないのでしょうか。さあ、アルバムを見て人と楽しく会話してみましょう！アルバムは、過去の思い出がたくさん詰まった大切な宝物・・・。ビデオとは違う魅力があります。寂しくなったり、心と手がアルバムをめぐっていませんか？